

フランネルフラワー「フェアリームーン」の育成

松古浩樹・加藤克彦

Breeding of a New Flannel Flower (*Actinotus helianthi* Labill.) “Fairy Moon”

Hiroki Matsufuru and Katsuhiko Kato

要約 岐阜県鉢花のオリジナル品目であるフランネルフラワーにおいて、白花色以外の品種を育成するため、2008年より変異系統の選抜を行った。2009年に「フェアリーホワイト」から黄花色鉢花系統を選抜し、自家採種と選抜により固定系統を育成した。2013年に特性調査・特性検定を実施し、2014年に「フェアリームーン」と命名して種苗登録出願を行った。「フェアリームーン」の花色は、フランネルフラワー（アクティノツス ヘリアンシ種）では初めてのクリーム色である。開花習性は四季咲き性であり、周年出荷が可能であるが、花色の発現は低温期の方が優れる。生育特性は、既存の県育成鉢花品種「フェアリーホワイト」とほぼ同等であり、草姿はコンパクトとなるため、鉢花出荷に適する。

キーワード：クリーム色、鉢花、フランネルフラワー、新品種

緒言

岐阜県は小鉢を中心とした鉢花生産が盛んである。平成24年農林水産省花木等生産状況調査における鉢花産出額は全国4位であり、生産量は全国的にも上位に位置している¹⁾。

しかし、鉢花では毎年、新しい品目・品種の開発が盛んに行われており、他の産地には無い品目の生産を目指し、生産者および産地間での競争が激化している。

そうした中で、産地間競争に勝ち抜き、安定した価格を維持するためには、オリジナル品種（オンリーワン品種）による差別化が不可欠であり、県内生産者からは新品種の育成が強く求められている。

これまでに、鉢花用フランネルフラワー（アクティノツス ヘリアンシ種）として「フェアリーホワイト」²⁾、「エンジェルスター」³⁾を育成し、岐阜県のオリジナル品種として消費者や生産者から高い評価を得てきた。しかし、育成した鉢花用フランネルフラワーは、いずれも白色の花色であり、花色のバリエーションが乏しい。そこで、多様化する消費者ニーズに対し、花色や草姿のバリエーションを広げるため、これまで蓄積してきた遺伝資源と育種のノウハウを活かして鉢花に向く新しい形質を持つ品種の育成に取り組み、その結果、フランネルフラワーでは初めてのクリーム色の花色である新品種「フェアリームーン」を育成したので、その特性および育成の経過について報告する。

育成の経過

2008年から、①白花色以外の鉢花品種、②コンパクトな草姿の鉢花品種、③四季咲き性の鉢花品種の3点を育種目標形質とし育成を開始し、2009年に「フェアリーホワイト」から花色が薄いクリーム色となる黄花色鉢花系統を発見した。2010年から2012年にかけて、自家交配と濃色系統の選抜を繰り返して、固定系統を育成した。2013年に特性調査・特性検定を実施した結果、新品種として有望であると判断し、育成を完了した（第1表）。2014年に「フェアリームーン」と命名し、農林水産省に対し品種登録出願を行った。

第1表 「フェアリームーン」の育成経過

| 西暦 | 育成経過 |
|--------|--|
| 2008年 | 「ぎふ清流国体」に向けた地域ブランド研究開発事業にて、花きの新品種育成を開始。 |
| 2009年 | 「フェアリーホワイト」栽培中の個体の中から花色が薄いクリーム色となる系統を選抜。 |
| 2010年～ | 自家交配と濃色系統の選抜を繰り返して、系統を固定化（純系選抜）。 |
| 2013年 | 特性検定を行い、有望性を確認し育成を完了。 |

「フェアリームーン」の特性

1. 花の特性

総ほう片の主な色は、県育成鉢花品種「フェアリーホワイト」と「エンジェルスター」の白色（RHS カラーチャート 155B）に対し、クリーム色（同 158B）である（第2表、第1図）。なお、花色発現は低温期が優れる。

花の直径は、「エンジェルスター」の7.5cmよりも大きく、「フェアリーホワイト」の8.4cmと同等の8.3cmである（第2表、第1図）。

総ほう片幅は、「エンジェルスター」の1cmよりも大きく、「フェアリーホワイト」と同じ1.2cmである（第2表、第1図）。

花軸長は、「フェアリーホワイト」の3.6cmよりも長く、「エンジェルスター」の6.2cmよりも短い4.8cmである（第2表）。

開花習性は、「フェアリーホワイト」と「エンジェルスター」と同じ四季咲き性である（第2表）。

2. 形態特性と早晩性

草姿は、「エンジェルスター」の「半直立」に対し、「フェアリーホワイト」と同じ「開張」である（第3表、第2図）。

草丈は、「エンジェルスター」の41cmよりも低く、「フェアリーホワイト」の25.6cmと同等の25.5cmである（第3表）。

開花性は、「エンジェルスター」の「早」に対し、「フェアリーホワイト」と同じ「中」である（第3表）。



「エンジェルスター」 「フェアリームーン」 「フェアリーホワイト」

第1図 花および葉の比較



第2図 鉢花用フランネルフラワー新品種「フェアリームーン」

第2表 「フェアリームーン」の花の特性

| 品種名 | 花の直径 [cm] | 花序の中 心部の直径 [cm] | 総ほう片 の幅 [cm] | 花序の軸 の長さ [cm] | 総ほう片の主な色 注) | 開花習性 |
|------------------|--------------|-----------------------|--------------------|---------------------|----------------|------|
| フェアリームーン | 8.3 | 1.8 | 1.2 | 4.8 | クリーム色(158B) | 四季咲き |
| フェアリーホワイト (対照品種) | 8.4 | 1.9 | 1.2 | 3.6 | 白色(155B) | 四季咲き |
| エンジェルスター (対照品種) | 7.5 | 1.8 | 1.0 | 6.2 | 白色(155B) | 四季咲き |

注)カッコ内はRHSカラーチャートの色票番号

第3表 「フェアリームーン」の形態特性と開花性

| 品種名 | 草姿 | 草丈 [cm] | 株の幅 [cm] | 節間長 [cm] | 開花性 注) | 葉身の長さ [cm] | 葉身の幅 [cm] |
|------------------|-----|------------|-------------|-------------|-----------|---------------|--------------|
| フェアリームーン | 開張 | 25.5 | 28.3 | 4.3 | 中 | 6.1 | 7.3 |
| フェアリーホワイト (対照品種) | 開張 | 25.6 | 28.6 | 4.7 | 中 | 5.1 | 5.8 |
| エンジェルスター (対照品種) | 半直立 | 41 | 26.5 | 4.9 | 早 | 4.3 | 4.9 |

注)栽培期間により開花性を分類 早：8か月、中：9か月、晩：10か月

第4表 「フェアリームーン」の栽培特性

■：出荷期

| 播種： | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|--------|-------------|--|-------------|-------|-------|----|-----|----|----------------------|----|-------|-------|-------|
| 6月1日 | 5号 摘心有 | (5号) | ○追肥 ○矮化剤 | ○出荷期 | | | ●播種 | | ○鉢上げ(2.5号)○鉢替え(3.5号) | | ○摘心 | ○鉢替え | |
| 冬期管理： | 管理 | | ○暖房終 | | | | | | ○遮光(降温目的) | | ○暖房 | | |
| 12-14℃ | 株幅 | ○19cm | ○20cm | ○21cm | ○24cm | | | | | | ○10cm | ○14cm | ○17cm |
| | 備考 | ・冬期は、温度を確保する管理(AM9以降換気、PM4までに締め切る) | | | | | | | | | | | |
| 播種： | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 6月1日 | 4.5号 摘心有 | ○追肥 | | ○出荷期 | | | ●播種 | | ○鉢上げ(2.5号)○鉢替え(4.5号) | | ○摘心 | | |
| 冬期管理： | 管理 | | ○矮化剤 | | | | | | ○遮光(降温目的) | | ○暖房 | | |
| 3-5℃ | 株幅 | ○17cm | ○17cm | ○18cm | ○22cm | | | | | | ○10cm | ○14cm | ○17cm |
| | 備考 | ・冬期は、温度を確保する管理(AM9以降換気、PM4までに締め切る) ・冬期に自動灌水する場合は、過湿に注意する。 | | | | | | | | | | | |
| 播種： | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 7月1日 | 4.5号 摘心有 | ○追肥 | | ○出荷期 | | | ●播種 | | ○鉢上げ(2.5号)○鉢替え(4.5号) | | | | |
| 冬期管理： | 管理 | ○摘心 | ○矮化剤 | | | | | | | | ○暖房 | | |
| 12-14℃ | 株幅 | ○16cm | ○17cm | ○19cm | ○22cm | | | | | | ○8cm | ○11cm | ○14cm |
| | 備考 | ・冬期は、温度を確保する管理(AM9以降換気、PM4までに締め切る) | | | | | | | | | | | |

- 1) 播種：播種量は3～4g(トレイの発芽数が1000を超えると、徒長し、その後の草姿に影響する)。
- 2) 鉢上げ：本葉が展開し始めたら、即、鉢上げする。根は傷つけない(育苗箱を前日に灌水し適度に湿らせておく、苗は土ごと底からすくい取る)。
- 3) 鉢替え：鉢上げ2か月後を基本とするが、鉢上げ苗同士が込み合っている場合は、鉢上げ1.5か月程度で鉢替えを行う。
- 4) 摘心：3～5葉程度を摘み取る
- 5) 追肥：ロング70～100日タイプを2g程度

注意事項

- 1) 鉢替え時、苗をサイズ別に振り分ける。
- 2) スペーシングは必ず行う。

3. 栽培特性

播種時期および冬期管理温度により、開花時期と株のボリュームが異なる。4.5～5号鉢サイズで春出荷するためには6月上旬に播種し、冬期に12～14℃で管理することで3月中旬～4月下旬の出荷が可能である。また、冬期管理温度が3～5℃の場合は、出荷時期が遅れ4月上旬～5月中旬の出荷となる。なお、より遅い7月上旬播種では、冬期暖房が必要となり、12～14℃で管理することで3月下旬～5月上旬に4.5号鉢サイズの出荷が可能である(第4表)。

4. 普及性

「フェアリームーン」はクリーム色となる初の他花色品種であり、多様な消費者ニーズにマッチし、新たな需要の創出が期待できる。また、草姿および開花性は既存の県育成鉢花品種「フェアリーホワイト」と同等で、草姿はコンパクトであり、鉢花出荷に適している。

鉢花用フランネルフラワーを生産する農家34戸(平成25年11月現在)で構成されるフランネルフラワー研究会員を中心に、生産技術の研修等を実施し、県内への普及・振興を進める。

5. 普及・利用上の留意点

「フェアリームーン」の花色発現は低温期が優れるため、6～7月に播種して翌年の早春～春出荷が適する。生産者で組織する「フェアリームーン部会」は大鉢による高品質生産を行い、品質の優れるフランネルフラワ

ーの高級ブランドを確立して、市場への浸透を図ると共に、フランネルフラワーのイメージアップにつなげる方針で検討されている。

引用文献

- 1) 農林水産省生産局農産部園芸作物課花き産業・施設園芸振興室. 2012. 平成24年農林水産省花木等生産状況調査.
- 2) 農林水産省品種登録. 2009. 品種登録番号18363.
- 3) 農林水産省品種登録. 2009. 品種出願番号24287.

Abstract

The flannel flowers (*actinotus helianthi* Labill.) is the original item of the pot flower industry in Gifu Prefecture. "Fairy Moon" is new color flannel flower variety. It was bred by pure line selection of mutation breeding "Fairy White". The characteristics of "Fairy Moon" are as follows ;

- 1) Flower color is the first yellow-white in the flannel flower.
- 2) Flower form is equal to "Fairy White".
- 3) Flowering habit is perpetual flowering.

Key words

Yellow-White Color, Pot Flower, Flannel Flower, New Variety

